

令和4年度「初夏の本宮山で身近な生き物を探そう！」

日時 令和4年6月4日（土） 午前10時00分から

行程 砥鹿神社奥宮駐車場 集合 → スケート場跡地 → 砥鹿神社奥宮社叢 → 山頂
→ 砥鹿神社奥宮駐車場 解散

当日の様子



今回の「初夏の本宮山で身近な生き物を探そう！」は山頂周辺で開催されました。

当日は10人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸さんと本宮山に生息する動物や植物などを観察しました。集合場所となった砥鹿神社奥宮駐車場を出発すると、砥鹿神社奥宮方面へ向かって歩きました。

砥鹿神社奥宮の手前にはハナミズキなどが植えられた広場がありますが、その場所には以前スケート場があったそうです。広場の隅には池があり、池のそばの木はモリアオガエルの産卵場所となっています。東三河の中でもこの場所はモリアオガエルを観察しやすい場所で、モリアオガエルは雨の降りそうな夕方から夜にかけて卵を産むことが多いと先生が教えてくれました。

また、池の中にはアカハライモリがいました。モリアオガエルの卵は孵化した後、おたまじゃくしが真下の池に落ち、その池の中で成長していきますが、このアカハライモリは餌となるおたまじゃくしが落ちてくるのを待っています。アカハライモリの赤い腹も観察できました。



↑モリアオガエルの卵を観察



↑モリアオガエルの卵



↑アカハライモリ



↑オオセンチコガネ



↑ウツギ



↑エンシュウハグマとフモトスミレ

観察した主な植物等

アオマムシグサ、アセビ、イボタノキ、ウツギ、エンシュウハグマ、コブシ、クリンソウ、シバの花、スギ、スギゴケ、スルガテンナンショウ、ニガナ、ハルガヤ、ブタナ、フモトスミレ、ハウノキ、マツ、モミノキ、ヤマボウシ 他

観察した主な動物

アカハライモリ、オオセンチコガネ、モリアオガエルの卵、ヤマアカガエルのたまじゃくし 他

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・植物、昆虫など今まで見ていない物が見れたので楽しかったです。
- ・カエルの卵があんな形とは思わなくて、ビックリしました。
- ・とても興味深く、知りたかった事も良く分かりました。ありがとうございました。
- ・植物の詳しい見分け方等知らなかったことも多く勉強になりました。

などのご意見をいただきました。